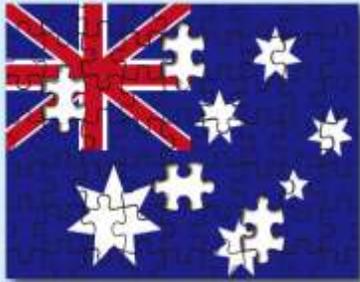


## 国際シンポジウム2011(メルボルン)

# IRと教育改善 ～オーストラリアの事例から学ぶ～

参加費無料、事前申込要



2012年1月21日(土)

13時30分 開始

会 場: 大谷大学響流館3階 メディアホール

アクセス: 烏丸通 北大路西入ル

京都市営地下鉄北大路駅 6番出口 徒歩2分

※自家用車での来場はご遠慮ください。

### 概要

昨今、大学におけるIR(インスティテューショナル・リサーチ※)の必要性が叫ばれるようになり、多くの大学がIRに基づく業務運営に取り組み始めています。

反面、IRという用語自体の知名度は上がったものの、その活用方法については、各大学が独自に模索している状況であり、モデルケースと呼べるものが確立されているとはいえない状況にあります。

今回のシンポジウムでは、オーストラリア・メルボルンに所在する3大学でそれぞれIRを担当する教職員をお招きし、それぞれの大学での活用事例をご報告いただくことにより、日本における教学IRの活用方法について考えます。

※IR(インスティテューショナル・リサーチ)とは: 大学を取り巻く様々な数値やデータを集約・分析し、大学運営や教育改善に役立てる取り組みを指します。

### プログラム

13:30 開会挨拶

13:35 背景説明「オーストラリアの高等教育概観」

杉本 和弘 氏

(東北大学高等教育開発推進センター 准教授)

13:55 事例報告「オーストラリアの大学における教学IR事例」

Richard James 氏

(メルボルン大学 副学長・高等教育研究センター長)

Marnie Hugues-Warrington 氏

(モナッシュ大学 副学長)

Straty Savvas 氏

(スインバーン工科大学 戦略的計画・質保証部 統計マネージャー)

15:45 パネルディスカッション(質疑応答)

16:45 閉会挨拶



\* 同時通訳付

申込方法 : 「2011国際シンポジウム申込」とタイトルに記載の上、大学名・職名・氏名・連絡先をご記入いただき、事務局 [kcai-office@consortium.or.jp](mailto:kcai-office@consortium.or.jp) までメールにてお申込みください。

切 込 : 2012年1月14日(土)

参加費 : 無料

定 員 : 100名(先着順のため早めにお申し込みください)

<お問い合わせ>

国際連携プログラム開発推進委員会事務局

(大学コンソーシアム京都内 国際連携事業担当)

Tel: 075-353-9164(直通) Fax: 075-959-9101

E-mail: [kcai-office@consortium.or.jp](mailto:kcai-office@consortium.or.jp)